

# 目指せ！図書館マスター

# 図書館マスターだより

2021年12月  
塩尻市立図書館  
編集



## 第6期図書館マスター認定！

### 図書館マスターって？

図書館マスターは本や司書、図書館全体について学び、司書の仕事を体験してもらう講座です。

今年は20人の受講生が全7回の講座を修了し、図書館マスターに認定されました。

回	日付	テーマ
第1回	6/13(日)	開校式、 図書館の本の並び方
第2回	6/20(日)	カウンターの仕事 本の修理
第3回	7/4(日)	1冊の本が図書館の本 になるまで①
第4回	7/31(日)	1冊の本が図書館の本 になるまで②
第5回	8/8(日)	図書館マスターだより
第6回	11/13(土)	おはなし会練習
第7回	11/14(日)	本番！おはなし会 マスター修了式

- ・図書館マスターの開校式
- ・図書館で働く司書の仕事について



## 図書館の本は どんなふうにならんでいる？

- ・図書館に本を並べるための分類法「日本十進分類法」を知ろう
- ・本のならび方を理解しよう
- ・実際に本棚へ行って確認しよう

山村 結瑞

ただわかるだけではない

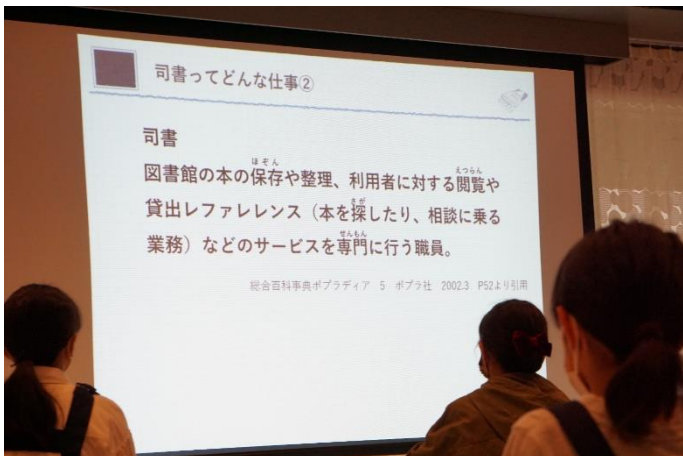
日本十進分類法

7 7 5  
9 3 8 2  
6 0 4

私が一番むずかしかったのは最初の「日本十進分類法」を知ってじっさいにやったことです。最初はただわかるだけかと思っていたけど、じっさいにやってみたらすごくむずかしかったです。「日本十進分類法」は大切な仕事の一つなんだとよくわかったし、話を聞くだけでなくじっさいにできてよかったです。

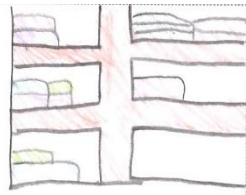
「日本十進分類法」を知って、借りて返すだけと思っていたのがいろんな人によってここに本があるんだなと思ったし図書館のみかたがわかりました。





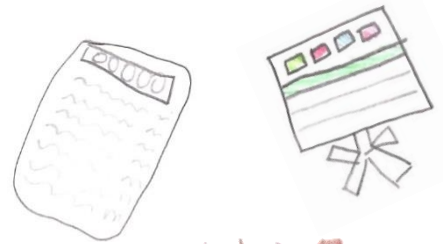
## カウンターの仕事と本の修理

- ・本の仕組みを学び、本の修理方法や取りあつかい方を学ぼう
- ・カウンターの仕事をやってみよう

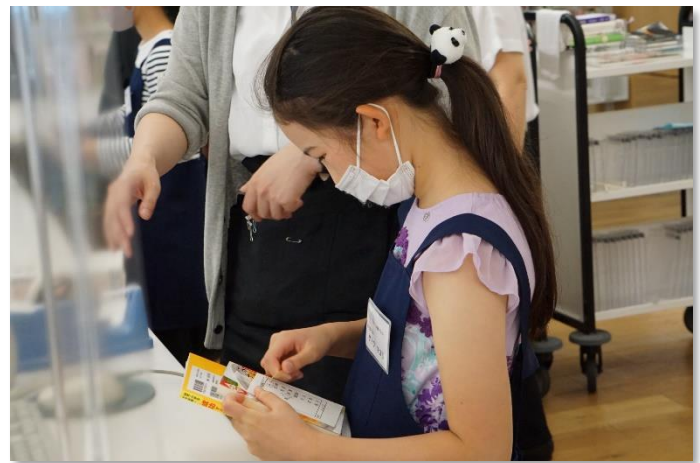


佐藤 真悠理

大変だけれど楽しい  
カウンターの仕事

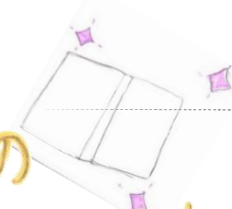


私が一番心に残ったのは、カウンターの仕事です。カウンターでは、きんちょうして顔がこわばってしまいました。いつも笑顔で仕事をこなしている司書さんはすごいなと思いました。他の館から借りた本を分けるのがすごく楽しかったです。私はさいしょカウンターの仕事がちゃんとできるか心配でした。けれど司書さんがやさしく教えてくれてとても分かりやすかったです。司書さんは大変で楽しいカウンターの仕事をてきぱきとこなしていてとてもすごかったです。



澤木 心菜

もう1度読んでもらうための  
大事な仕事



私が1番心に残ったのは、本の修理です。本の修理では、こわれた本をふつうの「のり」ではなく、本の修理専用の「のり」で直していることが分かりました。また、こわれてしまった本は、1つ1つ司書の方が、ていねいに、ページが取れてしまったりしている本を直してくれていて、もう1度読めるようになっていくことが分かりました。このようにていねいに、ページが取れてしまったりしている本を直してくれていて、もう1度読めるようになっていくことが分かりました。このようにていねいに直してくれていることを知り、これから本を読む時は、本を大事にして読みたいです。





三浦 佳璃奈



# 大変なカウンター仕事と本の修理

私が、一番心に残ったのは、カウンターの仕事と本の修理です。カウンターの仕事は、大変だと思っていたけど、想像してたよりもっと大変でした。利用者にはきんちょうして口がかくかくになってしまいました。あと、パソコンのそうさをまちがえてしまい、利用者を長くまたせてしまいました。修理は、本に、よごれや破れていると、のりで修理をするそうです。本にあるよごれや破れているのを、どんどんと直していたので、すごかったです。本がよごれたり破れてしまうとめいわくがかかってしまうので、本は大切に、よごれや破れたりしないようにしたいです。



篠田 遥

見ているより大変!!?

# 大変なカウンターの仕事!

わたしが一番楽しかったのは、カウンターの仕事です。一冊一冊バーコードを読みこみました。予約があるかどうか確にんしながらやるのが大変でした。それに、返さくしよりされた本を一冊一冊ラベルを見ながらたなに返すのも大変でした。カウンターの仕事は大変だということが分かったので、これから図書館の本を借りたり、返したりする時は、司書さんにかんしゃしようとおもいます。





川久保 栞

# とっても難しい 本の解体

私が一番思い出に残っているのは、本の解体です。

私は今まで、本がどのようにして作られているかよく知りませんでした。司書さんに教わりながらはさみとカッターナイフを使い、本を解体すると、中の紙の部分は紙の束をまとめたことだということが分かりました。

また、本の仕組みがわかれば、自分で本をつくることもできます。私はこれを知って自分で本が作れるんだ！と思ってとても驚きました。

私は時々小説を書くので、いつか本にしてみたいなあと思います。



# カウンター体験・本の修理・レファレンスに挑戦！



# 1冊の本が図書館の本になるまで①

- ・見計らいと選書会議をして、どの本を買うかみんなで決めよう



高尾 賢澄

## かなり難しい選書会議と 起家

ぼくは、第3回の1さつの本が図書館の本になるまで①の選書会議が心に残っています。選書会議とは、決まった予算で本を選ぶ会議で、最後は、しっかりと本を決める会議のことです。今度また図書館にきたらこの本はいくらなんだろうときにしながら選びたいです。そして同じ回の館長に見せたことは、すごくきんちょうしたけどしっかりと説明できたのでよかったです。もし今度そのことを思い出したらこの本は、こういう説明ができるなと思いつつ読みたいです。



銭坂 友花

## 貴重な体験選書会議

私が1番印象に残ったのは選書会議です。司書の皆さんは小学生や中学生が読みたい本は何か？と考えながら本を選んでくれていることにおどろきました。このお仕事を今回は小学生や中学生の私たちがやりました。予算の中で本を決めるのは難しく皆で話し合うのは楽しかったです。私たちのグループは予算ではおさまらず、お金をたしたりしました。館長への本の紹介は自分で考えた簡単なスピーチで認めてもらったので嬉しかったです。このようにして新しく入れる本を入れるのだと分かりました。これから図書館に行って新刊本を見たときは私たちの読みたい本かなと中を確認してみたり、1番最初の図書館マスターでやったことを思い出してみたいです。





赤羽 怜奈



難しいけど 楽しい  
「選書会議」



私が一番思い出に残っているのは、選書会議です。

選書会議は、いろんな本がある中から予算を決めてその予算で本を選びます。いろんな本があつて決めるのがとても大変です。

「これは、みんなが読みたんだろうなあ」と思った本を入れたりするので、思ったより大変でした。だけど、自分が良いと思った本を選んで入れることができるのでとても楽しかったです。

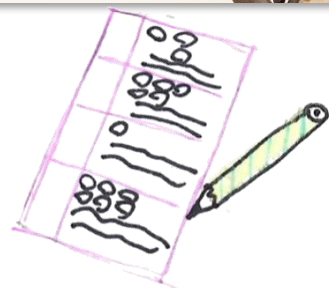
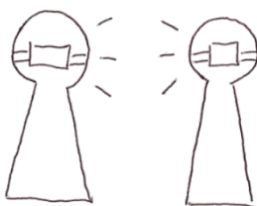
一冊の本はこのようにしてたなに並んでいるので、大事にして図書館を利用したいと思います。



堀内 優衣



図書館の本選びは大変?



わたしがむずかしかったのは、選書会議です。本を選ぶなんて楽しそう！と思っていたけれど、みんなの好きな本のこのみ、予算の1万円をどうすればむだなく使えるか、予算をこえないかなど、お金も、好きな本のことも考えなくてはいけないので、思った以上にむずかしかったです。

もう一つは「課題」があったことです。

課題は、中学生や、小学校高学年の人が調べやすいかなどで、その課題にあっている本でないといけないということ、「なんでもいい」というわけでないということが大変でした。

図書館の本になるには、みんなと話し合っつてやっとOKをもらってやっと図書館の本になっているんだな。すごいなと思いました。

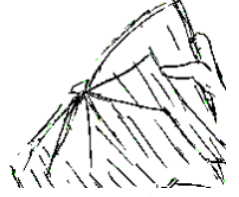




塩原 佑美香

大変!

# 選書会議



私が一番むずかしいと思ったのは選書会議です。今まで、何気なく手に取っていた本が色々な手間をかけて、図書館に並べてあることを知り、びっくりしました。

選書会議は何人かに分かれておこないました。予算は1万円でした。数冊の本を見てどれもすてきな本で迷いました。本を決める時もいると思う本と、いらないと思う本がそれぞれちがいなかなか決まりませんでした。予算の1万円をオーバーしてしまったりもしてしまい色々大変でした。

自分が思っていた以上にむずかしく、大変だったけれど、自分たちがえらんだ本が、たなに並べられて、みんなに借りてもらえるとうれしいです。





館長からハンコをもらって、無事に選んだ本の起案が通りました！

## 1冊の本が図書館の本になるまで②

- ・買うことになった本の「装備」をしよう
- ・ラベルをはってブッカーをかけよう
- ・本の登録と研修をして棚にならべよう



服部 珠奈

難しいけど大切!

本の装備



私が一番思い出に残っている講座は、本にブックコートフィルムをかけたことです。

本が汚れたり傷んだりしないように、ブックコートフィルムをかけていたことを初めて知りました。ハンカチを使いながらゆっくりと失敗しないようにやりました。大変で、難しかったけど、表面をハンカチでこすりながらブックコートフィルムをかけることが楽しかったです。

これから図書館で本を借りる時は、本が傷まないようにやさしく使いたいし、みんなにも教えて図書館の本が多くの人に利用してもらえるようにしたいです。



三沢 楓菜



とても大変

ブッカーかけと登録

私が、図書館の仕事の中で一番難しいと思ったのは、本を長持ちさせるために行う「ブッカーかけ」と登録です。

図書館の本は、本屋さんで買った本にブッカーと言うものをかけてから本棚に並びます。たくさんの人が借りる本は、いたみやすいので、ブッカーをかけます。中に空気が入ると見た目がよくないので、ていねいに、ゆっくりかけました。

ブッカーをかけた本は、登録をします。パソコンを使うのですが1回では覚えきれないほどたくさんをします。そう考えると、本を図書館の本にするのは、とても大変です。

このように、本が図書館の本になるまでは、時間がかかっていることが分かりました。



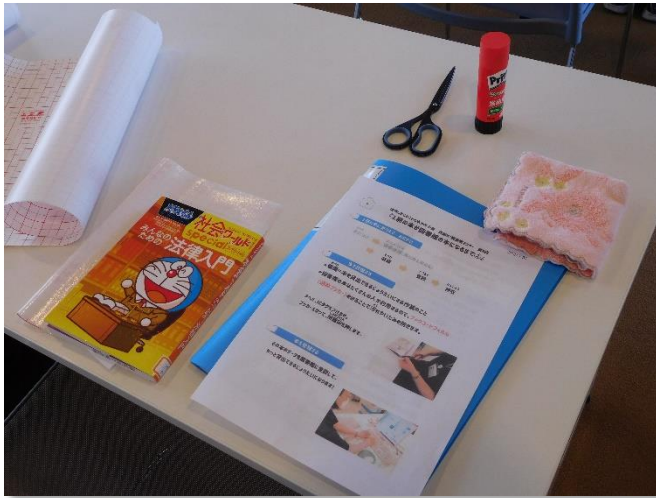


三沢 暖仁

# 意外とむずかしいブックカバー



ぼくが一番むずかしいと思った仕事はブックカバーです。なぜブックカバーを本にかけるのかというと、よごれから守るためと知りました。実際にブックカバーをかけてみました。ブックカバーをかける時に空気が入って何回もはりなおすのが大変だったけどハンカチでこするのが楽しかったです。ブックカバーをかけることはとてもむずかしく時間がかかるんだなぁと実感できました。そしてブックカバーはとても大事な仕事です。なので司書さんが一つ一つ大切にやっていることが分かりました。



上條 航生

# 大変だけどすごく大事な本の装備



ぼくが、これまでで一番むずかしいと思ったのは本に装備をしたことです。本の装備というのは、ぬれたり日光で色がおちないようにするためにブックカバーをかけるという作業です。ぼくは本の装備はらくだと思っていたがむずかしいということを知りました。装備をする作業でとくにむずかしいと思った所はブックカバーを本にはる時です。本にはる時空気が入らないようにしないといけないのですごくむずかしかったです。ぼくは、このことを通して、ブックカバーをかけるという作業はむずかしいけれど大事な仕事だと思いました。





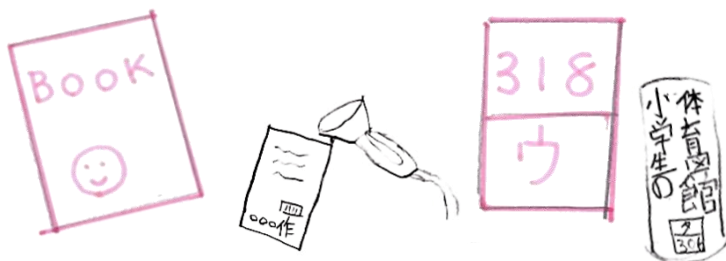
大槻 涼子



私が一番むずかしかったのはブッカーかけです。ブッカーとは、よごれなどがつかないようにカバーする物です。ブッカーがあることで色々なことがカバーされています。そして私がすごいなと思ったことは、もう一つあります。それは、私たちは本が見つからない時には大体の人が司書の人かコンピューターで本をさがしています。でも、ラベルのことをもっとすれば、自分一人でさがすことができます。私はこのイベントをとおしてブッカーがとても大きな役わりを果たしていることがよくわかりました。そしてこれからは1人で本をさがしてみたいです。

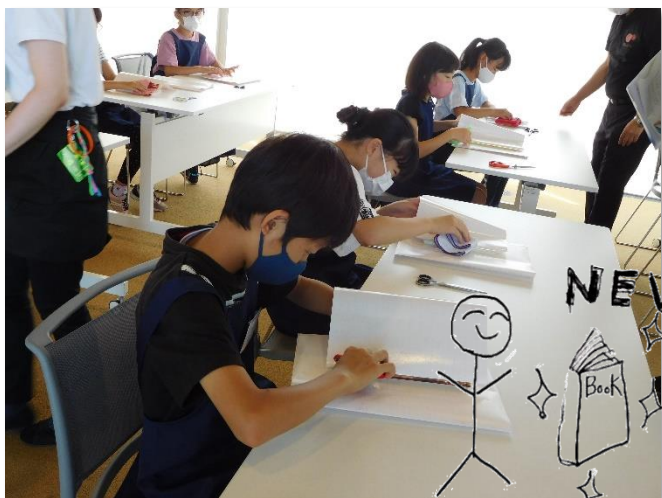


小林 良佑那



長く読んでもらうためのブッカーかけ

ぼくは、装備が図書館の仕事の中で一番大切なのではないかと思います。装備をするときに本にはカバーはブッカーといいます。このブッカーがすごく大切なやくわりをします。ブッカーをかけると本がいたみにくくなったりするため長く読んでもらえます。そして、読んでいるときに表紙がはがれたりしないのもブッカーがあるからです。そしてこの装備のときもう1つ大切なのがラベルとバーコードです。ラベルは本の種類ごとに分かれていて本を探すときやくだちます。バーコードは図書館に登録するためのだいじなやくわりをしています。このような図書館の人の仕事から図書館の本はなりたっているのです。





稲岡 ささ

# 本をキレイに保つヒミツ

私が1番難しかったのは、本の装備です。

本を長く使うためにどのような工夫をしているのかを知りました。自分たちが選んだ本に、実際にブックコートフィルムをつけました。空気が入らないように集中してキレイにはることができました。この作業をするから長い間、キレイに本を保ち、たくさんの人に読んでもらえるのだとよく分かりました。

これからは、こんな大変な作業をしているんだと思い出しながら、もっともっといい本に本を読もうと思いました。



塩原 江梨花



# 本の装備でギモンが晴れた

わたしが「目指せ！図書館マスター」をやった中で楽しかったことは、本の装備です。

いつも図書館から借りた本を読んでいるとき、なぜこのとう明なカバーがついているのだろう？ といつもギモンに思っていました。でも、このカバーは本のよごれなどをを守るためにつけていることが知れました。そして、実際にブックカーかけをしました。ハンカチでこすりながら、空気が入らないように気をつけてやったのですが、ブックカーどうしがくっついて大変でした。

このことから、わたしは塩尻市中の人が読む図書館の本は、きれいにあつかいつつ、本の内容もちゃんと読みたいなと思いました。





春日 美咲



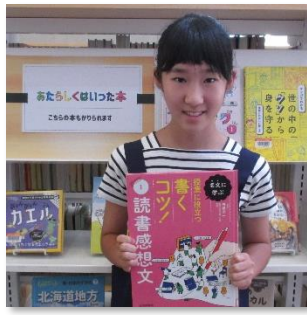
わたしが、一番、楽しいと思ったことは、本のブックカーかけです。

ブックカーをかける時には、ハンカチを使って、空気やしわが入らないようにして、かけていきます。わたしの本は、カバーつきだったので、カバーのうらにも、少しつける所があって、そこは、少ししわが入ってしまいましたが、表は、きれいにできてよかったです。ブックカーかけは、きれいにやらないと、バーコードが読みとれなくなったりします。そして、かりたい人がかりられなくなったりします。

1つの本でも、すごく、集中力と時間がかかります。でも、ブックカーかけは、図書館の本にするために大切だと思います。



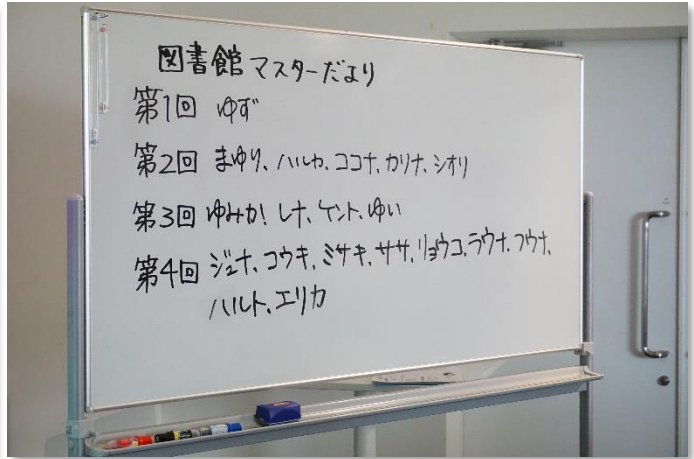




選書会議で選んだ本を、ひとり1冊ずつ装備しました！  
 自分で装備した本と一緒に記念写真☆  
 みんな上手にできたかな？  
 装備・登録した新しい本は、さっそく利用者さんが借りてくれました！

# 図書館マスターだよりを作ろう

- ・図書館で発行しているおたよりから「広報」の大切さを知ろう
- ・これまで学んできた講座をふりかえって、マスターだよりの記事を書こう



図書館マスターで一番難しかったこと、楽しかったこと。  
みんなしっかり記事を書いてくれました！

# おはなし会について、練習(実習)

・修了式のおはなし会に向けて練習！



おはなし会に向けて、みんな一生懸命練習中です！

# 本番！おはなし会(実演)、修了式

- ・おはなし会発表
- ・図書館マスター認定証交付

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| 1. はじまるよ (手遊び)        | 全員  |
| 2. ともだちや (大型絵本)       | 服部 珠奈、三沢 楓菜<br>赤羽 怜奈、上條 航生                        |
| 3. ふしぎなポケット (パネルシアター) | 小林 良佑那、高尾 賢澄、三沢 暖仁                                |
| 4. いただきバス (大型絵本)      | 塩原 佑美香  |
| 5. これなあに (パネルシアター)    | 稲岡 ささ、澤木 心菜<br>山村 結瑞、堀内 優衣                        |
| 6. 3つの金のうでわ (劇)       | 塩原 江梨花、春日 美咲、佐藤 真悠理<br>三浦 佳璃奈、大槻 涼子、川久保 栞<br>篠田 遥 |
| 7. しりとりしましょ (巻物絵本)    | 全員  |



練習のおかげで、みんなしっかり発表できました！





大きな声で、はっきりと発表することができたのでよかったです。見ている人に伝わるようにできたのでよかったです。楽しかったです。

声を大きくして大型絵本を読むことができたのでよかったです。ちゃんと役になりきれたのでよかったです。



練習の時よりも、上手にできたのでよかったです。もう少し大きな声で読んだら聞き取りやすかったと思いました。

大きな声ではっきりと大型絵本をよめたのでよかったですしちゃんと歌の時は一緒に歌ったりできたのでよかったです。





きん張したけど大きな声でできました。セリフもしっかりいえました。

2年目でもきんちょうはしたけど練習通りやることができてよかった。



しっかり大きな声でおはなし会を成功できた。みんなと協力して大きな声でみんなを楽しませることができた。

大きな声で読めたし、最初と最後のあいさつもきちんとできたので良かったと思います。





最初はきんちょうしたけれど、  
どんどん練習していく内にワ  
クワクして楽しかった。まち  
がえちゃったりしたけれど一  
生けん命できたからよかった。

少しはずかしかったが楽しかっ  
た！自分であんまりきんちょう  
しなかったことに自分でびっくりし  
た！来年もやろうかなーって思っ  
た。



少し失敗してしまったところも  
あったけどみんなで力を合わせて  
できてよかった。歌を歌うところ  
や声をだすところは少し小さかっ  
たけど、声を出せてよかった。す  
ごく楽しかったし、おもしろかつ  
たです。

パネルシアターでは、歌う前  
に「これなあに」を言うこと  
ができたし、大きな声でやる  
ことができてよかったです。  
きんちょうしたけれど、最初  
の手遊びや最後のしりとりな  
ど楽しめてよかったです。





魔法使いの弟子の役はセリフが多く、暗記できるかわからなかったけど、大きな声で部屋じゅうにひびかせることができてよかった。

きんちょうしたけど、成こうしてよかったです。もうちょっと上手にできるといいと思いました。



げきでは、セリフをまちがわずに言えたのでよかったです。他のともだちやなどは楽しかったりセリフなどを間違わずに言えていたので、いいと思います。

人前で話すときにこえが小さくなってしまったので大きくなったほうがいいと思った。







とってもきんちょうしたけど、セリフをおもい出してとってもすてきなげきにできてよかったです。初めの「はじまるよ」が楽しくできてよかった。大成功！

とても楽しかったです。少しきんちょうしました。セリフをまちがえなかったのよかったです。

リハーサルまでセリフをまちがえたりしてしまっただけど、本番はうまくいえたからよかった。

初めて劇をやったけれど、大きな声ではっきりと喋ることができた。コロナで来てくれた人は少なかったけれど良い経験になった。





## 館長からのメッセージ



第6期「目指せ！図書館マスター」を受講した20人の皆さん、認定おめでとうございます。司書の仕事を体験することによって、知らなかった図書館の裏側について、多くのことを学べたと思います。カウンターやおはなし会の本番では、緊張する場面もあり、仕事の大変さも体験してもらいました。苦労したからこそ、図書館の楽しさや本の魅力をさらに深く知ることができたと思います。

図書館や読書は、皆さんのこれからの人生を豊かなものにしてくれます。学んだことを大切にしていってください。そして、周りの友だちにも広めていってください。

図書館長 上條史生



## 編集後記

この図書館マスターだよりは、目指せ！図書館マスター第5回の「図書館マスターだよりを作ろう」の中で作成されました。マスター生たちが講座の中で一番印象に残ったことをもとに原稿やイラストを書いてくれています。

図書館マスターを通して、どんなことを学んだか、感じたか。思い思いの記事になっていますので、図書館マスターに興味がある子や保護者の方にも読んでいただきたいです。

2021年12月発行 塩尻市立図書館

